

GISの作成状況と今後の活用について

国土環境株式会社

1 GIS化されたデータの分類と種類

- (1) 海岸線及びサンゴ礁
 - (2) サンゴ群集
 - (3) 堆積物分布
 - (4) 白化分布
 - (5) 高水温域分布
 - (6) オニヒトデ分布
 - (7) 海中公園地区
 - (8) 利用状況分布
 - (9) サンゴ着床数
 - (10) 幼生残留率
- 等

2 GISによる重ね合わせ図の実際（調査結果の比較）

- (1) 時系列変化
 - (2) サンゴ分布と生息阻害要因
 - (3) サンゴ分布と利用分布
 - (4) 保全計画
 - (5) 再生計画
- 等

3 今後の活用について

- (1) HP公開
- 等